

# 組織培養によるオウトウのウイルスフリー苗の作出

—本県育成のオリジナル品種保護のための品種識別技術の確立とウイルスフリー  
優良苗の作出試験—

## Producing of the virus-free cherry by cell culture

-Protection of original crop cultivars in Aomori by DNA markers and virus-free techniques-

初山慶道・久保 隆\*・荒井茂充\*・土嶺康憲\*・櫛田俊明\*

(\*りんご研究所県南果樹部)

りんご研究所県南果樹部で育成したオウトウ「ジュノハート」は、平成 25 年 12 月に品種登録された新品種で、大玉で良食味であることから、青森県の新しいブランド品種として期待できる素材である。しかしながら、平成 24 年 3 月に種苗配布母樹とする原木がオウトウの指定ウイルスの PDV (ブルーンドワーフウイルス) に感染していることが確認された。PDV を保毒した樹を苗として配布することはできないことから、早期の普及に向けて、平成 24 年 7 月より組織培養を利用してウイルスを除去するウイルスフリー化を実施した。「ジュノハート」は、PDV 以外に CVA (チェリーウイルス A) も感染していることが認められたため、当ウイルスの除去も行った。簡易的な高温処理条件で栽培した鉢植えから茎頂部分を取り出し、生長点培養によって得られた数個体を検査した結果、両ウイルスともに除去された個体 1 個を獲得した。この個体を無菌培養で増殖し、発根させた苗を作出した。



品種登録

平成24年6月出願公表  
平成25年12月登録

交雑親

「紅秀峰」×「サミット」

果実

約11g。3L主体の大玉果。果皮色は濃赤色。果肉はやや硬い。糖度は約19%と高く、酸味が少なく食味良好。日持ち性に優れる  
「青森県のブランド品種」候補

